

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成27年6月号

創刊号
平成27年6月27日発行

ごあいさつ

はじめまして。最上小国川流水型ダム堤体工事を施工しております、前田・飛島・大場特定建設工事共同企業体と申します。前田建設工業、飛島建設と大場組の、3社による共同企業体(JV:Joint Ventureの略称)です。

平成27年5月より準備工事が始まり、約1ヶ月が経過しました。ここであらためて、当工事についての内容や、仕事の状況、今後の予定等をお知らせすべく、この「かわら版 最上小国川流水型ダム」を年に数回、発行することと致しました。

安全・環境・品質を優先すると共に、皆様方の信頼を得られるような工事を進めていく所存です。この「かわら版 最上小国川流水型ダム」が、その信頼を得られる一つとなれば幸いです。

今後とも、よろしくお願い致します。

最上小国川流水型ダムの場所

最上小国川流水型ダムは、最上郡最上町大字富沢地内にあります。

国道47号線からですと明神橋交差点より赤倉温泉方面へ県道28号尾花沢最上線に入り、赤倉地区から県道262号最上小野田線を通り、その沿線に位置します。



最上小国川流水型ダム



ダム建設位置

6月までの出来事



写真: 玉串奉奠の状況

安全祈願祭

4月27日には、神様に工事全体の安全を祈願する、安全祈願祭を執り行いました。赤倉温泉町内会からも、町内会長様を初めとするダム建設促進期成同盟会の方々にも多数ご出席頂き、ともに安全を祈願して頂きました。有り難うございました。

平成31年3月までの工期の間、無事故無災害を目標に頑張っていきます。

稚鮎放流

6月6日には、7月からのアユ釣り解禁に向けての稚鮎放流をして頂きました。天候が悪いなかでしたが小国川漁協組合長様を初め、組合赤倉支部の方々にもご協力頂き、近隣小学生に稚鮎の放流をして頂きました。有り難うございました。

来年、再来年と続けて参ります。今回は、ご連絡が不行き届きでしたこと、お詫び致します。

次回も多数のご参加を頂きますようお願い致します。



放流の様子

参加してくれた小学生ほか雨がしょぼしょぼする中、ありがとうね。

JV職員紹介



氏名: 桑野 陵一 (クワノ リョウイチ)

役職: 作業所長(現場代理人) (前田建設工業(株))

出身地: 北海道 現住所: 長野県

ダム現場は8箇所目です。単身赴任の為、週末は温泉街を歩いていることが多いです。(特に夕方から夜中にかけて) 今後とも宜しくお願いします。

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛島・大場特定建設工事
共同企業体
連絡先: 〒999-6212
(仮事務所)山形県最上郡最上町大字
志茂265-2
TEL 0233-44-9230
FAX 0233-44-9231

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願ひします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成27年7月号

第2号

平成27年7月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

7月も下旬となり連日厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。学校も夏休みに入り、どこかしこから子供たちの元気な声が聞こえてくる季節となりました。

さて、現地では本事務所の設置工事を行っています。8月より、これまでの最上町志茂の仮事務所から移転し、本事務所にて業務を開始致します。本事務所への移転後も、安全・品質・環境を優先した作業をさらに職員一同、心掛けて参りますので今後ともよろしくお願い致します。

これからますます暑い日が続く時期となりますが、皆様におかれましても熱中症や夏バテなど体調管理には十分ご注意ください。



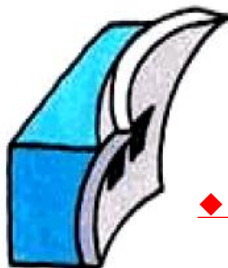
写真： 工事中の現場事務所

コンクリートダムとは？

ダムは地形、地質、施工条件などの条件により、その場所で最適なダム形式が決められています。ダムには様々な種類がありますが、大きく分けると次の三つになります。

【アーチ式コンクリートダム】

川幅が狭く、岩壁のしっかりした場所に作られます。水圧を周りの山の力で支えます。三船敏郎と石原裕次郎が共演した『黒部の太陽』で有名な黒部ダムは、この形式です。



【重力式コンクリートダム】

コンクリートでできたダム自身の重さで水圧を支えます。日本で、一番多く作られているダムの形式です。**最上小国川流水型ダムは、この形式です。**



【ロックフィルダム】

岩壁の弱い場所に作られます。岩石を広く積み上げてつくり、水圧やダムの重さを分散します。山形県の前川ダム、綱木川ダム等は、この形式です。



◆ 最上小国川流水型ダムは、コンクリートダムでも治水目的のみとした流水型ダムとなります。

※イラストは、国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統合管理事務所のHPより引用しました。

7月の出来事

災害時支援協定締結



写真：調印式の様子
(わらべ唄の宿 湯の原)

7月6日、最上小国川流水型ダム建設促進協議会の総会が『わらべ唄の宿 湯の原』で開かれ、最上町と前田・飛島・大場JVとの間で赤倉地区での災害時緊急支援活動に関する協定の調印式を行いました。

この協定は、赤倉地区で集中豪雨や地震が発生した場合、JV側が人命救助と被害拡大防止、応急活動に必要な人員や機材を提供するというものです。

安全で安心な地域づくりのためにお役に立てるよう、努めて参ります。

ホームページ開設

最上小国川流水型ダムのホームページを開設致しました。工事の状況やお知らせなどを掲載しています。随時更新して参りますので、ぜひ一度ご覧ください。

URL : <http://mogamiogunigawa-jv.jp/>



JV職員紹介



氏名：八十 明男(ヤソ アキオ)

役職：事務課長(渉外担当) (前田建設工業(株))

出身地：兵庫県姫路市(お城で有名な姫路城(白鷺城))

九州鹿児島を20年、関西の現場を3年、現場事務職を各地で従事してまいりました。食べることは大好きです。

山菜、アスパラ、さくらんぼ最高です！宜しくお願いします。

発注者：山形県最上総合支庁
施工者：前田・飛島・大場JV
連絡先：**8月からはこちらになります**

【本事務所】〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成27年8月号

第3号

平成27年8月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

8月も残りわずかとなりました。みなさま、お盆はどのようにお過ごしだったでしょうか。お盆を過ぎると厳しかった暑さも落ち着き、涼しい風を感じるようになりました。

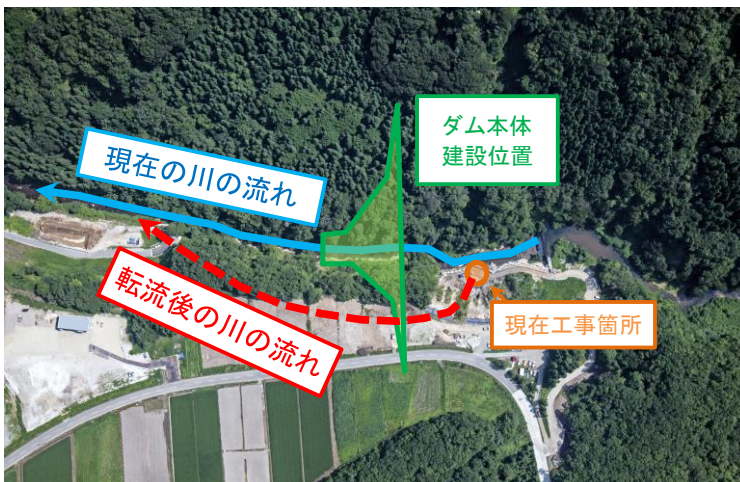
現場では本事務所の設置工事も完了し、移転作業も無事に終わりました。8月より新しい事務所にて業務を開始しています。これを機に職員一同気持ちを新たにし、みなさまの期待にお応え出来るよう努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。夏の疲れも出る頃ですので、お体には十分お気をつけ下さい。

転流工とは？

ダム工事では、川の水が流れていると施工することができません。そこで工事期間中は、川の流れを切り替える必要があります。その川の流れを切り替える工事のことを「転流工」と呼びます。

本年度は、来年度よりダム本体工事を開始するために、この「転流工」の施工を行っています。工事内容としては、川の左岸側の山にトンネルを掘り、川の流れをそのトンネルに切り替えるといったものです。現在は、トンネルの入口を造る工事を行っているところです。



写真：ダム建設現場付近航空写真



写真：トンネル入口部の施工状況

8月の出来事



現場見学会

8月25日にNPO団体「山と川の学校」(最上町大堀)のみなさんが現場見学に来て下さいました。普段あまり目にする事のないダム工場の現場を見学して頂き、最上小国川流水型ダムについて、より興味を持って頂けたのではないのでしょうか。ぜひまた、見学にいらして下さい。

本事務所完成

7月より設置工事を行っていた本事務所が完成しました。場所は富澤地区内のダム建設工事現場内です。8月からは本事務所に移転し、業務を開始致しました。

仮事務所があった志茂地区の近隣のみなさまには、これまで大変お世話になりました。ありがとうございました。

これからは現場により近い事務所での業務となります。職員一同、より一層努力してまいりますので今後ともよろしくお願い致します。



写真: 完成した本事務所

JV職員紹介



氏名: 柏木 克之(カシワギ ヨシユキ)

役職: 工事課長 (飛島建設(株))

出身地: 神奈川県横須賀市

ダム現場は6箇所目です。東北地方で仕事をするのは初めてですが、山形県の夏がこれほど暑いとは思いませんでした。今後とも宜しくお願いします。

発注者: 山形県最上総合支庁

施工者: 前田・飛島・大場JV

連絡先: 〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤

字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成27年9月号

第4号

平成27年9月25日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

9月も後半となり、朝夕はめっきり涼しくなりました。秋の気配が次第に色濃くなって来ましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

台風18号の影響で関東から東北地方を中心に降った豪雨により、各地で甚大な被害が発生しました。最上小国川も一時氾濫し、赤倉地区に避難指示が出されました。当作業所では最上町との災害協定に基づき、土のうを積んだり、ポンプでの排水作業などを行わせて頂きました。今後もこのような災害時等には皆さまの安全を守り、お役に立てるよう努めて参ります。



工事進捗状況



呑口部掘削(平成27年7月)

転流(河川の切替え)のために現在、トンネル呑口部を施工しています。

7月末より掘削に着手し、現在、トンネルのコンクリート打設まで完了しています。今後、河川からトンネルへ水を導くための導流壁といわれるコンクリート構造物を施工していきます。

9/10~11日の豪雨により工事用道路の一部が壊れましたが、早期に復旧して工事を進めて参ります。



トンネル部掘削(平成27年8月)



止水・鉄筋工(平成27年8月)



コンクリート工完了(平成27年9月)

9月の出来事

ふながた若鮎まつり



プロジェクションマッピング



流水型ダム模型

9月12日(土)・13日(日)に舟形町のアユパークを会場に、「第35回ふながた若鮎まつり」が開催されました。

当作業所のブースでは実際に水を使ったダムの模型での実演や、3Dプリンタで作製した模型へのプロジェクションマッピングの投影などの展示を行いました。たくさんの方々が足を止めて説明を聞いて下さいました。ありがとうございました。

赤倉小学校大運動会

9月13日(日)に赤倉小学校の運動会が開催され、当職員も一緒に応援させて頂きました。

創立60周年の記念の年ということもあり、これまでの練習の成果が発揮された素晴らしい運動会でした。生徒のみなさんが競技や応援に一生懸命頑張っている姿にとっても感動しました。



JV職員紹介



氏名: 杉野 裕之 (スギノ ヒロユキ)

役職: 工事課長 (前田建設工業(株))

出身地: 奈良県大和郡山市 現住所: 奈良県奈良市

今まで主に西日本でダム工事に従事してきました。今回初めて東北に来ました。寒いのは非常に苦手です。雪国の生活に慣れていませんが今後ともよろしくお願ひします。

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛鳥・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願ひします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成27年10月号

第5号

平成27年10月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。秋は、実りの秋、芸術の秋、スポーツの秋などいろいろとありますが、皆さまはどんな秋をお過ごしでしょうか。

現場周辺の山々も赤や黄色に色づき、鮮やかな紅葉の中作業を進めております。インフォメーションセンターも開設致しましたので、紅葉を見にいらっしゃった際などには、是非こちらにもお立ち寄り下さい。

これからの季節は朝夕の冷え込みが厳しくなっておりますので、お体にはくれぐれもお気を付け下さい。



展望ステージから撮影
(2015.10.23)

左岸端部処理工

現在、ダムの左岸側(県道側)におきまして左岸端部処理工を施工しています。

端部処理工とは、ダム本体の左岸側に止水目的の擁壁を構築する工事です。ダム本体の体積を小さくでき、コスト縮減にもなります。9月下旬より工事に取り掛かり、機械および人力による掘削を完了した後、地盤の清掃を行い、発注者による地盤検査を受けました。

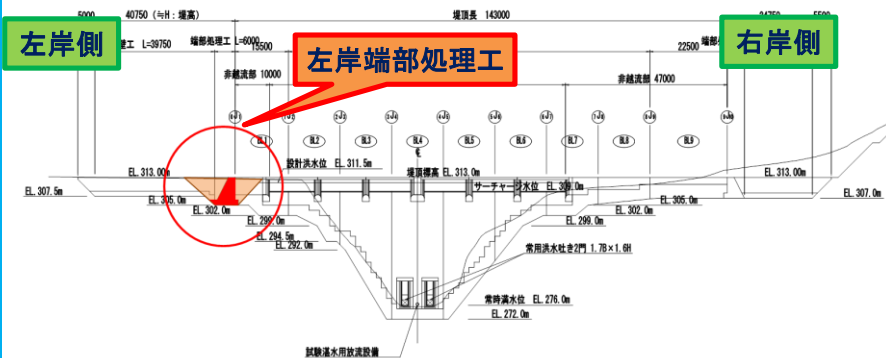
今後、コンクリートを打設して構造物の構築を行い、年度内に完了する予定です。



(掘削状況)



(地盤検査状況)



(左岸端部処理工施工位置)

10月の出来事

現場見学会

10月19日に小国川漁業協同組合の皆さん、山形県議会議員の皆さん、10月21日に東北ダム促進連絡協議会の皆さんが現場見学にいらっしゃいました。



〈小国川漁業協同組合〉



〈山形県議会〉



〈東北ダム促進連絡協議会〉

インフォメーションセンター開設

ダムサイト左岸天端上流側にインフォメーションセンターを開設致しました。流水型ダムについての展示を行っています。ご質問がある場合やご説明等が必要の際は工事担当者が対応させていただきますので、事務所までご連絡下さい。(通常業務に支障のない場合に限らせて頂きます。)

ダムサイトを一望できる展望ステージもございます。皆さま、是非一度お越し下さい。

※インフォメーションセンター開設時間
平日(土日祝を除く) 9:00~17:00

〈インフォメーションセンター〉



〈展望ステージからの眺め〉



JV職員紹介



氏名:大場 正志(オオバ マサシ)
役職:工事主任(株式会社 大場組)
出身地:山形県

今回初めてダムの工事に従事します。他のJV職員と共に協力し、より高い品質を目指し工事を進めたいと思います。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛鳥・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

安全・品質・環境を優先した作業を行ってまいります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成27年11月号

第6号

平成27年11月25日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

11月に入り、日ごとに寒さも増して陽だまりが恋しい季節となりました。めっきり日も短くなり、冬の気配を感じられるようになって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

もうじき雪の季節がやってきますが、今年度は冬期間も工事を行う予定です。雪や寒さに不慣れな職員もおりますが、事故等がないよう十分注意して作業を進めて参ります。引き続き、皆さまのご協力をお願い致します。

師走に近づき、何かと忙しい時期ですが、くれぐれもお体にはお気を付け下さい。



展望ステージから撮影
(2015.11.21)

コンクリート打設

現在、現場ではダムサイト左岸側の県道脇での端部処理工、および河床部仮排水路トンネル呑口でのコンクリート構造物の構築を行っています。

作業としましては、型枠、鉄筋の組立を行い、その中をきれいに清掃して、コンクリートを流し込みます。これを高さ1.5m程度ずつ、繰り返し積み上げていく作業です。

コンクリートを流し込んでしっかり締め固める作業をコンクリート打設といいます。

作業は、コンクリート製造プラントよりトラックミキサ車にて現地までコンクリートを運搬し、コンクリートポンプ車にて作業箇所へ圧送します。その流し込まれたコンクリートをバイブレーターでしっかりと締め固めるといった流れになります。

コンクリート打設作業は、強度のある良質なコンクリート構造物を造るうえで非常に重要な作業となります。



型枠組立の状況



コンクリート打設の状況

11月の出来事

最上町 新そばまつり

11月15日(日)に「第3回 最上町新そばまつり」が赤倉温泉のお湯トピアもがみで開催されました。当作業所も協賛させて頂き、会場にブースを出展致しました。ブースでは流水型ダムの水理模型と3Dプリンタで作製したダムサイト模型へのプロジェクションマッピングの展示を行いました。

たくさんの方々にご来場頂き、当作業所のブースにも足を止めて説明を聞いて下さいました。ありがとうございました。



現場見学会

11月15日(日)に山形応用地質研究会の皆さんが現場見学にいらっしやいました。小雨の降るあいにくの天気でしたが、展望ステージや砂防堰堤から現場を見学して頂きました。ありがとうございました。



JV職員紹介



氏名:松崎 成美(マツザキ セイビ)
役職:工事担当
出身:日本を創った長州、山口県
工事担当と派遣会社の社長の二つの顔を持ちます。
日本のラグビーシーンを変えたエディジャパンを支えた
帝京大ラグビー部OBです。お酒は濃いハイボールです。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成27年12月号

第7号

平成27年12月23日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

今年もいよいよ残りわずかとなりました。雪も降り始め、本格的な冬が到来しましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

これからの積雪に備え、ダムサイトに設置していたインフォメーションセンターと展望ステージを11月をもちまして撤去致しました。これからの季節、雪の降る日が多くなります。除雪作業や雪道の運転・歩行などには、十分にお気を付け下さい。

本年中の皆さまの当工事へのご理解とご協力、ありがとうございます。来年も安全・品質・環境を優先した作業を心掛け、地域の皆さまのお役に立てるよう努力して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

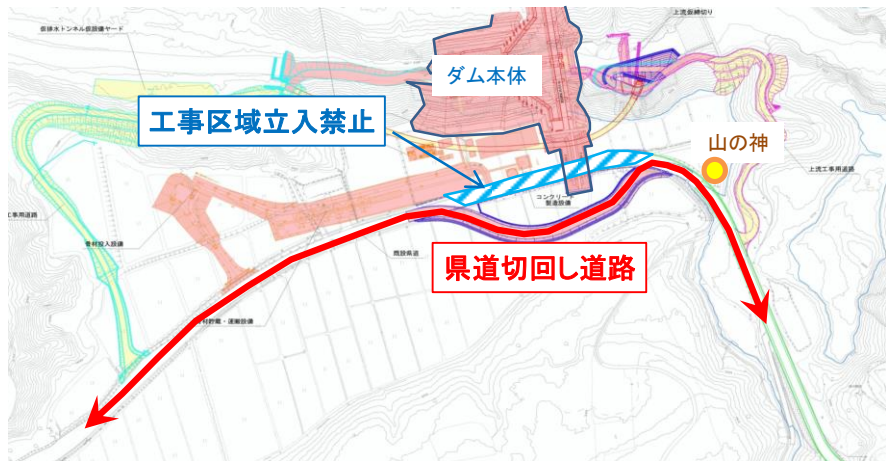
年末の忙しい時期ではありますが、お体にはお気を付けて、どうぞよいお年をお迎え下さい。

県道切回道路工

ダム本体の建設に当たり、県道を横切って構造物を構築することから、工事期間中は、県道を切回す必要がありました。10月より工事に着手しまして、この度、12/25の検査を受けて工事完了となります。

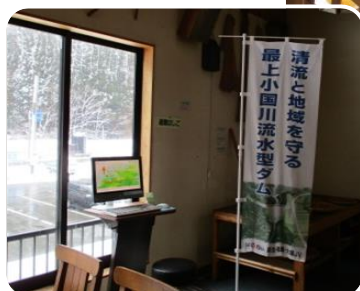
現在は、冬期期間中ですので通行止めではありませんが、来春より開通となりましたらカーブがきつくなっていますので通行の際はご注意ください。

よろしくお願い致します。



12月の出来事

インフォメーションブース設置



川の駅ヤナ茶屋もがみ2階にインフォメーションブースを設置させて頂きました。備え付けのパソコンを利用して最上小国川流水型ダムのホームページなどをご覧頂けます。どなた様でもご利用できますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

現場見学会

11月26日(木)に山形県 建設技術協会 置賜支部・最上支部の皆さんが現場見学にいらっしゃいました。



JV職員紹介



氏名:松田 知世(マツダ トモヨ)

役職:事務担当

出身:山形県

事務業務を担当し、かわら版の編集もしています。イベントなどにも参加していますので、お気軽にお声を掛けてください。

今後ともよろしくお願い致します。

発注者:山形県最上総合支庁

施工者:前田・飛島・大場JV

連絡先:〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年1月号

第8号

平成28年1月28日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

あけましておめでとうございます。今年は例年より雪が少なく、穏やかな年明けとなりましたが、みなさまはどのようなお正月をお迎えになられたでしょうか。当作業所の職員も地元へ帰省し、久しぶりに家族とゆっくり過ごすことができました。十分に英気を養い、気持ちも新たに作業を再開致しました。

今年も安全・品質・環境に配慮した作業を心掛け、より一層みなさまのお役に立てるよう努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

雪も本格的に降り出し、これからまだまだ寒い日が続きますが、お体には十分にお気を付け下さい。



県道除雪作業

工事進捗状況

ダムサイトまでの県道は、赤倉地区より先は通行止となっており、一般車の進入は禁止となっていますが、除雪を行いながら工事車両は進入しています。冬期間におきましても工事は行っており、ダム本体工事の他にも道路側溝付替工事、大森橋橋梁補修工事、林道工事等の複数の業者が入り込んでいます。

ダム本体工事におきましても、今年度中の河川の切替え(転流)に向けて、除雪を行いながら工事を進めています。工事での事故はもちろん、交通災害等も発生させないように十分、安全に配慮して施工していきますのでよろしくお願い致します。



呑口導流壁工



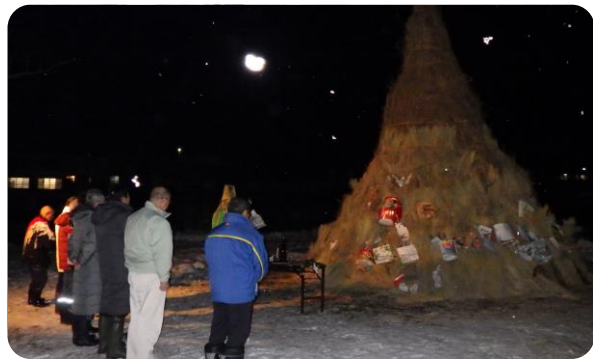
左岸端部処理工

1月の出来事

大お柴灯まつり

1月16日(土)に第41回赤倉温泉大お柴灯まつりが赤倉温泉せんしん館前で開催されました。赤倉の伝統行事「鳥追い」も勇壮に行われ、たいまつを掲げた若者たちが駆け回り、お柴灯に点火し、家内安全や無病息災、商売繁盛を祈願しました。

当作業所所長も御祈祷に参加させて頂きました。お柴灯の御神火に心身ともに清められ、今年1年の工事の安全と職員の健康を願いました。これから1年、無事故無災害で作業を進められるよう努めて参ります。昨年引き続き、工事へのご理解とご協力をよろしくお願い致します。



現場関係者紹介



氏名:菅 安夫(カン ヤスオ)
役職:JV協力会社 株式会社ダイケン 社長
出身:最上町
(JV筆)

地元の方は私たち以上にご存知の方も多いとは思いますが、私共と皆様との橋渡し役をいつもしていただいています。非常にお世話になっています。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年2月号

第9号

平成28年2月29日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

春とは名ばかりで、まだまだ寒い日が続いております。今年は暖冬で積雪量も例年に比べ少なく、除雪作業も幾分楽に感じられますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

近頃は、天候の穏やかな日も増えてきて、少しずつ日も長くなってきました。春に近づいてはいるものの、朝晩は気温も低く、体調を崩しやすい時期です。インフルエンザも流行しているようですので、体調管理には十分にお気を付け下さい。

本工事は、現在引き続き、河床部にて仮排水路トンネル呑口部の施工を行っています。

転流(川の切替え)に向けた仮締切の準備にも一部、着手しました。



現在の仮排水路トンネル呑口部

冬期のコンクリート

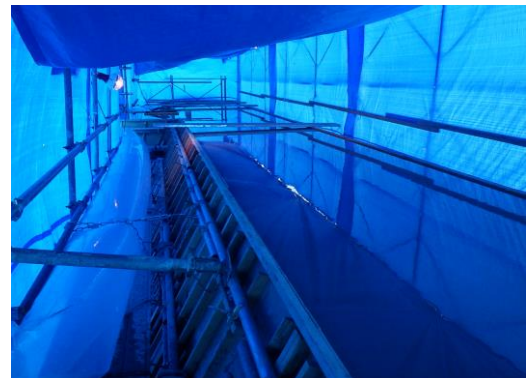
冬期間中は、積雪および氷点下になる気温の中で、施工しなければなりません。その中でも、コンクリート打設作業は、非常に気を使います。コンクリート打設後に気温が氷点下まで下がるとコンクリートは、固まりにくくなったり、凍結してしまったりして強度が不十分なものとなってしまいます。

そのため、コンクリート打設箇所周りをシートで完全に囲って外気と遮断し、内部をボイラー等で温めることで内部温度を一定に保ち、コンクリートを養生します。

きちんとした養生を行うことで、十分な強度を持った品質の良いコンクリートとすることが出来ます。



養生状況(外観)



養生状況(内部)

2月の出来事

大堀地区鍋まつり

2月21日(日)に大堀地区公民館前を会場に第12回大堀地区鍋まつりが開催されました。当作業所も協賛させて頂きました。公民館入口にブースを設け、流水型ダムの水理模型と、3Dプリンタで製作したダムサイト模型へのプロジェクションマッピング投影の展示を行いました。

当日は雨風の強い、あいにくの天気でしたが、たくさんの方々が会場にお越しになり、いろいろな種類の鍋で温まっておられました。当作業所のブースにも多くの方々に立ち寄って頂きました。ありがとうございました。



地元協力者紹介



氏名: 柴田 眞利(シバタ マサトシ)
役職: 赤倉温泉町内会長
(JV筆)

ダム完成を何より待ち望んでいらっしゃる方々のお一人で、にぎわいのある赤倉温泉の町づくりに奔走されています。このかわら版の配布等にもご協力頂いております。いつもありがとうございます。

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛鳥・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年3月号

第10号

平成28年3月30日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

3月も後半となり寒さもようやく衰え始め、春の気配を感じられる季節となりました。降り積もった雪も徐々に消え、現場周辺の山々にも少しずつ色が戻ってまいりました。

南の方からは桜の便りも聞かれるようになりませんが、まだまだ寒さが残っております。お風邪など引かれませぬよう、お気を付け下さい。

現在冬期の通行止となっています県道262号が通行止め解除となりましたら、インフォメーションセンターの開設も予定しておりますので、ぜひ一度工事の進捗の様子を見にいらして下さい。



左岸天端より
仮排水路トンネル呑口部を望む

工事進捗状況

現在、仮排水路トンネル呑口部の構造物は完成し、ひきつづき転流に向けた作業を行っています。また、ダムサイト左岸天端では、端部処理工の擁壁の構築を引き続き行っていきます。

平成28年度に入りますとダム本体のコンクリート打設の準備に取り掛かっていきます。いよいよ工事も広範囲での施工となります。



仮排水路トンネル呑口部



左岸端部処理工

3月の出来事

富沢地域雪まつり

2月27日(土)・28日(日)に「富沢地域雪まつり」がJA新庄もがみ富沢米倉庫周辺特設会場にて開催されました。当作業所も協賛させて頂き、開催前のかまくら造りをお手伝いしました。

雪まつり当日は、かまくら体験やスノーモービル体験、屋台の出店などがあり、たくさんの方々が楽しんでいらっしゃいました。天候の影響で打ち上げ花火が翌日に順延となりましたが、両日ともに多くの来場者で賑わい、子供から大人まで楽しめるイベントとなりました。



↑かまくら・すべり台製作状況



↑前夜祭(27日)の様子

地元協力者紹介



氏名:高橋 久(タカハシ ヒサシ)さん
役職:お湯トピアもがみ(赤倉温泉地区)公民館長
(JV筆)
地元では皆さんよくご存知の「久せんせい」。
機会ある度に赤倉温泉の街づくりに携わっておられます。
いつもお疲れ様です。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしく願います。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年4月号

第11号

平成28年4月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

あたたかい日が続き、春風の心地よい季節となりました。桜やスイセンなどいろいろな花が咲き始め、春の訪れを感じさせますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

新年度が始まり、当作業所にも新たな職員が加わりました。今年度は、今後も工事量の増加に合わせてJV職員や現場で働く人も増えていきます。

気持ちも新たに安全・品質・環境を優先した作業を進めて参りますので、今年度も皆さまのご理解とご協力をお願い致します。



転流した様子(上流側より撮影)

工事進捗状況

4月は、転流へ向けた準備工事として上流1次仮締切の土のうの設置とダムサイト左岸の旧県道箇所での擁壁の構築のための掘削作業を行ってきました。

また、今後、ダム本体のコンクリート打設を行う予定としていますので、それに向けた準備としてコンクリートを製造するための設備を作っていきます。今月は、ダム本体のような大規模な工事に必要となる濁水処理設備を組立てています。昨年度まで使っていた濁水処理設備の10倍以上の能力を持つ設備となります。



左岸擁壁部掘削完了



濁水処理設備設置の様子

4月の出来事

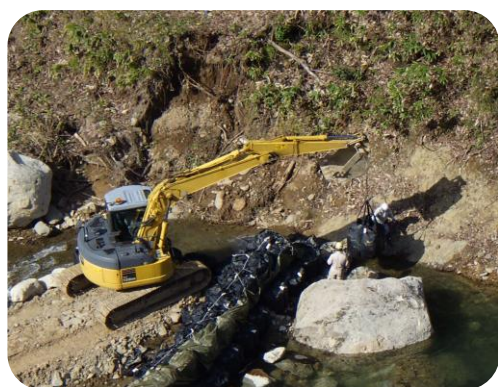
転流工見学会

4月25日(月)に転流見学会を開催しました。ダム建設工事を行うためには川の流れを切り替える必要があります。これまで川の左岸側の山を掘削し、仮排水路トンネルを造る作業を行ってきました。見学会当日には、川の水をせき止めるための土のうを設置し、転流を完了する様子を見学して頂きました。

県議会議員や最上町長、小国川漁業協同組合長、地元住民の皆さまなど、たくさんの方々に参加して頂きました。ありがとうございました。



↑見学の様子



↑土のう設置作業の様子



JV職員紹介



氏名:鈴木 創太(スズキ ソウタ)

所属:前田建設工業(株)

出身地:千葉県匝瑳(そうさ)市

今年4月に新入社員として現場に配属されました。のどかな風景に囲まれた場所ですが、初めての経験ばかりで1日が過ぎるのはあっという間に感じます。現場の役に少しでも立てる様に、これから頑張っていこうと思います。

発注者:山形県最上総合支庁

施工者:前田・飛島・大場JV

連絡先:〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年5月号

第12号

平成28年5月25日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

新緑の青葉が美しい、清々しい季節となりました。皆さま、今年のゴールデンウィークはどのように過ごされましたでしょうか。当作業所の職員は地元へ帰省し、ゆっくりと過ごすことが出来ました。英気を養い、これからの作業も頑張っていく所存です。

過ごしやすい季節ではありますが、体調を崩されませんようお気を付け下さい。

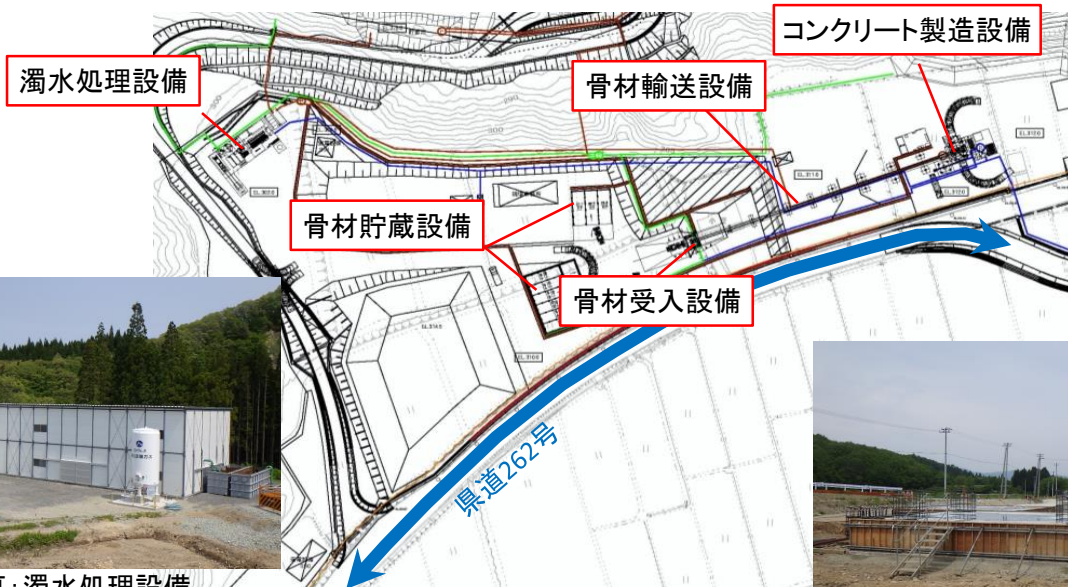
現在、河床では、上流二次仮締切工を施工しています。



写真：上流二次仮締切を施工中です

ダム用仮設備

ダム用のコンクリートは、現場内にて製造します。現在、現場では、ダム本体の施工に向けてコンクリート製造設備他、ダム用コンクリートを製造するために必要な仮設備を造っています。8月頃には、県道から全ての仮設備が見渡せると思います。



写真：濁水処理設備



写真：コンクリート製造設備から骨材輸送設備の基礎を施工中

仮設備ヤード平面図

5月の出来事

赤倉温泉春祭り

5月8日(日)に赤倉温泉春祭りが開催されました。最上中学校吹奏楽部の演奏を先導に、「家内安全」、「商売繁盛」を願い、大人たちが担ぐ本神輿や子供たちが担ぐ御神輿が赤倉温泉町内を練り歩きました。天候にも恵まれ、元気な掛け声が町内に響き渡りました。



山の神神社春祭り

5月15日(日)に山の神神社春祭りが行われました。ダムサイトにあるお社で近隣住民の方々と、春の訪れをお祝いしました。天候にも恵まれ、展望台から美しい新緑を眺めることが出来ました。



JV職員紹介



氏名: 飯島 敦(イイジマ アツシ)

役職: 工事主任(飛鳥建設株)

出身地: 愛知県豊田市

10年以上前にも山形県で仕事をすることがありましたが、冬の寒さと積雪量は忘れることはありません。仕事と共に山形県の良いところを満喫したいと思います。

発注者: 山形県最上総合支庁

施工者: 前田・飛鳥・大場JV

連絡先: 〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年6月号

第13号

平成28年6月23日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

6月も後半となりました。県内でも梅雨入りが発表され、雨の降る日が多くなりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大地をうるおす大事な恵みの雨ですが、大雨により河川の増水や土砂災害が発生しやすくなります。皆さまの安全・安心な生活をお守りするためにも、ダムの完成に向けて作業を進めて参ります。

夏が近づき、夏日になる日も増えてきました。熱中症などには十分にお気を付け下さい。



写真：展望台よりダムサイトを望む
(堤体部の伐採、掘削作業中です)

濁水処理設備

工事で発生した濁水は、濁水処理設備にてきれいにして河川に戻しています。処理能力として時間当たり150m³/hを処理できます。また、貯留池を経由させることで最大50mm/hまでの雨量を処理することができます。

設備のシステムとして前田建設工業(株)の自社開発技術であります「アクアフィルタシステム」を採用することにより河川の水生生物への影響を最小限に抑えることができます。



写真：濁水処理設備全景



写真：濁水処理設備内部の様子
(奥側より手前側へ処理していきます)



写真：貯留池
(濁水を一時溜めておきます)

6月の出来事

稚鮎放流

6月18日(土)に稚鮎放流イベントを開催致しました。今年は湯けむり橋のたもとを会場にして、小国川漁業協同組合の方々のご協力のもと、約20kgの稚鮎を最上小国川へ放流しました。近隣の小学生や住民の方々など、たくさんの方にご参加頂きました。ありがとうございました。



現場視察

5月16日(月)に山形県議会建設常任委員会の方々が現場視察にいらっしゃいました。展望台や砂防堰堤より現場を見て頂きました。



JV職員紹介



氏名: 中野 孝威 (ナカノ タカツナ)

役職: 工事課長 (前田建設工業(株))

出身地: 東京都杉並区

ダムに携わって10年以上。その内、山形県での仕事が6年程あります。今回、また山形でお世話になる事になりました。何かと『縁』があり第二の故郷である山形で、精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願い致します。

発注者: 山形県最上総合支庁

施工者: 前田・飛島・大場JV

連絡先: 〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年7月号

第14号

平成28年7月26日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

7月も下旬となりました。7月上旬は梅雨らしい天気となりましたが、8月に近づくにつれ、気温が高くなる日も多くなって参りました。いよいよ夏本番ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

これからますます暑い日が続く季節となります。熱中症や夏バテなど、体調管理には十分にご注意ください。



工事進捗状況

ダムサイトにおきましては、伐採が完了し、基礎掘削工事を右岸側を先行して施工しております。右岸の頂部まで重機で上っていき、頂部より順次下方へ掘削しています。

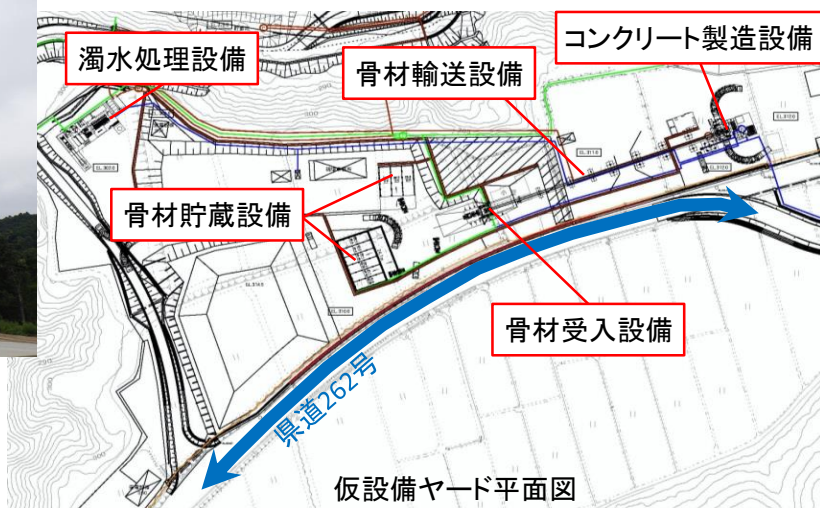
左岸天端のヤードにおきましては、ダムコンクリート製造のための仮設備の設置工事を行っております。設備につきましてもかなり全容が見えてきました。



写真：右岸側基礎掘削状況



写真：コンクリート製造設備側から骨材貯蔵設備側を望む



仮設備ヤード平面図

7月の出来事

現場見学会

7月6日(水)に最上町老人クラブ「十日町ふれあいサロン」の方々が現場見学にいらっしやいました。事務所会議室の水理模型やプロジェクションマッピングをご覧頂きました。あいにくの天気でしたが、現場までお越し頂きありがとうございました。



7月6日の大雨対応

7月6日(水)は梅雨前線の影響で東北地方で大雨となり、山形県の最上地方などに大雨警報が発表され、強い雨が降りました。最上小国川の水位も上昇し、赤倉地区では側溝が冠水するなどしました。当作業所は最上町との災害協定に基づき、ポンプでの排水作業を行いました。



増水した最上小国川



排水作業の様子

JV職員紹介



氏名:小林 真二(コバヤシ シンジ)
役職:機電副所長(前田建設工業(株))
出身地:山形県新庄市
新庄に生まれ高校卒業まで過ごしました。(自宅は神奈川県)
まさか! 地元で地元の為に仕事ができるとは、前田に入社し
23年間思ってもいませんでした。
皆さまに信頼される工事をします。よろしくお願いします。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場JV
連絡先:〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年8月号

第15号

平成28年8月25日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

8月に入り、毎日暑い日が続いております。お祭りや花火大会など、楽しいイベントが多い季節ですが、皆さまはどのようにお過ごしでしょうか。

8月は台風の発生により、各地で大雨となる日がありました。この影響で最上小国川も増水し、赤倉温泉町内で側溝が冠水する被害が発生しました。当作業所では最上町との災害協定によりポンプでの排水作業を行いました。

夏も終わりに近づきましたが、まだ残暑が続きます。体調を崩されませんよう、お気を付け下さい。



撮影日：8月17日(台風7号)

基礎掘削工事

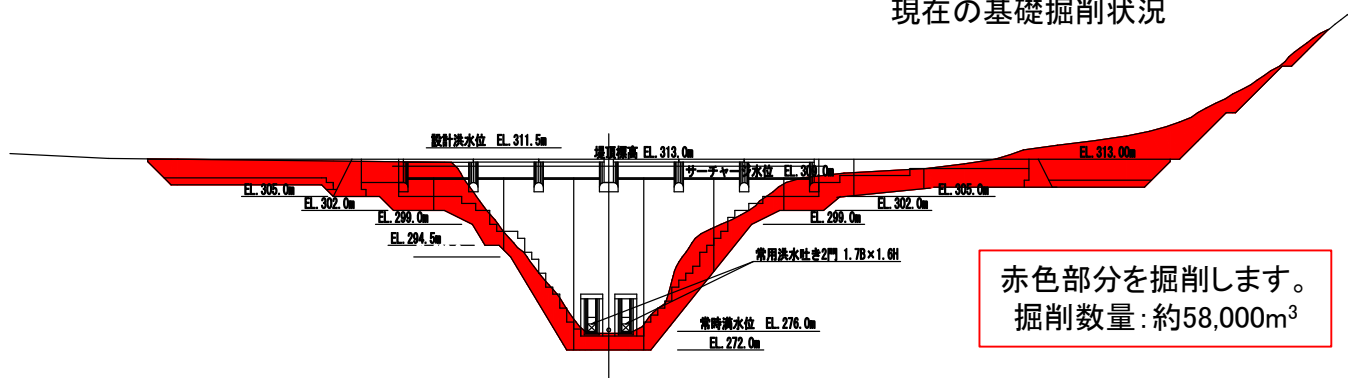
現在、ダムサイトではダムコンクリートの基礎となる岩盤を出すために基礎掘削工事を行っています。

安全なダムを造るためには表土や河床堆積物、風化した岩等を取り除き、強度のある岩盤の上にダムを建設する必要があります。

ダムコンクリート打設に向けて急ピッチで基礎掘削を進めています。



現在の基礎掘削状況



基礎掘削断面図(ダムを上流からた図です)

8月の出来事

現場見学会

8月3日(水)にNPO団体「山と川の学校」の皆さんが現場見学にいらっしゃいました。展望台から現場を見学して頂き、事務所会議室でスライドショーを見てダムについて学んで頂きました。暑い中現場までお越し下さいまして、ありがとうございました。



大堀地区 川魚つかみ取り

8月7日(日)に第36回大堀地区「川魚つかみ取り」が開催されました。当作業所も共催し、会場でお手伝いをさせて頂きました。

会場となった下白川おらだずの川公園ではイワナのつかみ取りが行われ、たくさんの子供たちが川に入ってイワナを捕まえていました。30度を超える真夏日となりましたが、元気いっぱいの子供たちの姿を見ることが出来ました。

JV職員紹介



氏名: 齊藤 尊義(サイトウ タカヨシ)

所属: (有)マツザキ

出身地: 秋田県横手市

7月から配属されました。山形での仕事は初めてですが、風景が地元 秋田県と同じなので、親しみやすいと感じました。今後ともよろしくお願ひします。

発注者: 山形県最上総合支庁

施工者: 前田・飛鳥・大場JV

連絡先: 〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年9月号

第16号

平成28年9月22日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

9月も下旬となりました。今年は残暑が厳しく、9月に入っても真夏日となる日が続きましたが、次第に暑さも落ち着き、秋の気配を感じられるようになりました。過ごしやすい季節となって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。お風邪などお召しになりませんようお気を付け下さい。



ダム用仮設備全景

工事進捗状況

現在、基礎掘削工事も左右岸とも低標高部まで掘削が進んでいます。

掘削の進捗とともに掘削残土の運搬も行っています。残土運搬の効率を向上させるために通常の公道を走る10tダンプトラックよりも更に大きい重ダンプトラック(10tダンプ約4台分の運搬量)を使用して残土を搬出しています。



基礎掘削工事状況

また、ダム用仮設備も完成し、堤体コンクリート打設に向けて事前に試験的にコンクリート製造を行いました。

実際に現場でコンクリートを製造してみてコンクリートの品質に問題ないことを確認しています。



重ダンプトラックによる残土運搬



コンクリートの試し練り

9月の出来事

赤倉小学区大運動会

9月11日(日)に赤倉小学区の大運動会が開催され、当作業所職員も一緒に応援させて頂きました。爽やかな秋空のもと、あかくら幼稚園・赤倉小学校の児童の皆さんが徒競走や綱引きなどの競技を行い、歓声や声援で盛り上がりました。一生懸命頑張る姿に胸を打たれる、素晴らしい運動会でした。



今月号から新入社員の鈴木がこのコーナーを担当します！

新入社員奮闘記



今年5月から現場で働いている鈴木です。早いものでこの現場に来てから4ヶ月が経ちました。赤倉での生活にも慣れ、自分の仕事が、ダム工事を進める上でどのような役割を担っているのか、絶えず考えながら仕事をしています。

そんな私が今主に行っている仕事は堤体基礎掘削の測量です。設計通りに掘削できているかを測量を行い、常に確認しています。重要な仕事であり、難しく、挫けそうになることもあります。恐れず我武者羅に頑張っていきます。

発注者：山形県最上総合支庁
施工者：前田・飛島・大場JV
連絡先：〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年10月号

第17号

平成28年10月26日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

10月も下旬となり、冷たい風が吹く季節となって参りましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。現場周辺の山々も色鮮やかに紅葉し、秋の深まりを感じさせます。ダムサイトの展望台から工事の様子と共に美しい紅葉を見ることが出来ますので、是非一度お越しになってみてはいかがでしょうか。

これからの季節、朝晩の冷え込みが厳しくなって参りますので、体調を崩されませんようお気を付け下さい。



展望台からのダムサイト上流の様子

工事進捗状況

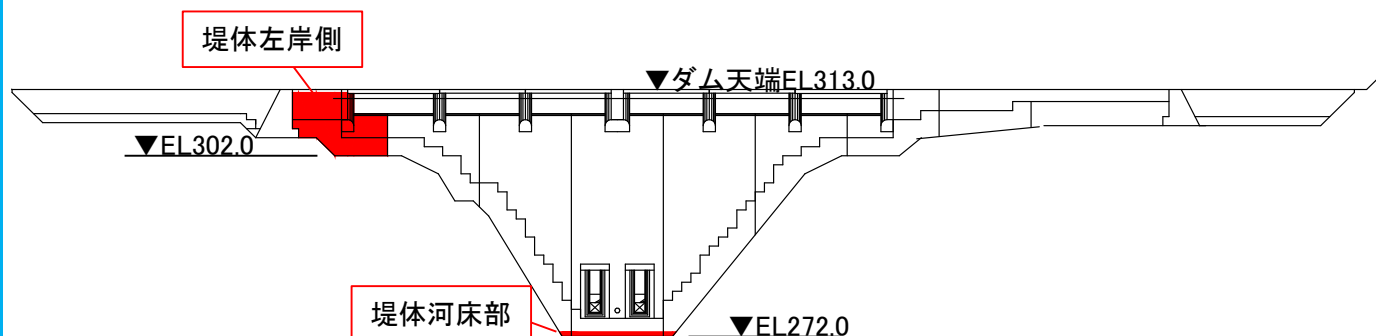
堤体は基礎掘削が完了し、河床部のコンクリート打設に向けて仕上掘削、岩盤清掃を行っています。今後、基礎地盤がダム堤体の基礎として問題ないかを基礎地盤検査にて確認を受けた後、打設となります。

左岸側におきましては、堤体の1BLの打設を開始しました。これも同様に掘削完了後、岩盤清掃、基礎地盤検査を経て打設を行っています。

今年度は、堤体の左岸側と河床部を打設する予定です。



基礎掘削完了の様子



今年度打設予定箇所(堤体上流面図)

10月の出来事

安全祈願祭・初打設見学会

10月11日(火)にダム本体のコンクリート初打設に伴い、安全祈願祭並びに現場見学会を行いました。

コンクリート製造設備などのダム用仮設備も完成し、基礎となる岩盤の検査を行い、この度初打設となりました。

伊藤県議会議員、最上町長、舟形町長、小国川漁業協同組合長、地元住民の方々など、たくさんの方にご参加頂き、作業の安全と早期完成を祈りました。また、コンクリートを初打設する様子も見学して頂きました。

これからダム本体の工事が本格化します。ダム完成に向け、職員一同、より一層気を引き締めて作業を進めて参ります。



↑ 安全祈願の様子



← 初打設の様子

新入社員奮闘記

Vol. 2

<ダムカード>

(表)



(裏)



今月は上の記事にあるように安全祈願祭・初打設見学会がありました。そこで自作のダムカードを配布することにしました。公式のものではないのですが、ダムのことや現場の様子をよりよく知って頂こうと思い、見よう見真似で作成しました。現場の設備について記載しようとする、予想していた以上にわからないことがたくさんあり、自分の知識不足を痛感しました。今後も自己研鑽に励み、より充実したダムカードを作成していこうと思います。

初打設見学会の際に配布したものは、現場展望台前のインフォメーションセンターに置いております。現場に来られた際は、是非手に取って下さい。

発注者：山形県最上総合支庁
施工者：前田・飛鳥・大場JV
連絡先：〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年11月号

第18号

平成28年11月24日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

朝夕冷え込む季節になって参りました。初雪も降り冬の到来を感じさせますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

雪の季節に備え、ダムサイトに設置しているインフォメーションセンターと展望台は11月いっぱいをおもちまして撤去致します。かわら版やダムカードをご希望の方は現場事務所までご連絡下さい。

師走も近づき、なにかと忙しくなる時期ですが、お風邪などお召しになりませんよう、お気を付け下さい。



展望台からのダムサイトの様子

工事進捗状況

基礎地盤検査

基礎掘削完了後、ダム本体のコンクリート打設を行う前に基礎地盤検査を行います。ダムは、大量の水を堰き止めるため、大きい水圧に耐えうる十分な強度の有する基礎地盤の上に造る必要があります。したがって、基礎地盤を十分調査し、詳細な安定計算を行った上で、基礎地盤の状態を確認し、ダムを載せる基礎岩盤として適しているかを確認します。

そして基礎地盤検査で全ての条件を満足することが確認できた後に、コンクリートの打設を行います。



基礎地盤検査の様子(現地確認)



基礎地盤検査の様子(資料確認)

11月の出来事

最上町善行表彰

平成28年度最上町定例善行表彰を受賞し、11月3日に行われた表彰式に出席しました。豪雨・台風災害時の排水作業等が赤倉地区の被害軽減に貢献したことでの受賞となりました。この受賞を励みに、これからも地域の皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。



表彰式の様子

【小国川漁業協同組合】



10月24日に小国川漁業協同組合の皆さんが現場見学にいっしょにしました。工事状況や濁水処理設備などを見学して頂きました。



11月4日には赤倉小学校・あかくら幼稚園の皆さんが現場見学にいっしょにしました。全学年の児童のみなさんと先生方に参加して頂き、ダム建設について学んで頂きました。お寒い中、お越し下さいましてありがとうございました。

現場見学会

【赤倉小学校】



新入社員奮闘記



ダム本体打設の様子

11月に入り、私はダム本体のコンクリート打設の施工管理を任せられるようになりました。良質なコンクリートを打設できているか、締固め等の施工はしっかり行われているか等の確認を行っています。打設が完了するまで8時間程度かかることもあり、忙しい日々が続いています。

そんな中でも、自分が打設を担当した躯体が出来上がっていくのを目にするとやりがいを感じ、活力を持って仕事に取り組みます。

来年以降も打設は続きますが、これからも良質なダムができるよう努力を続けていきます。(鈴木)

発注者：山形県最上総合支庁

施工者：前田・飛鳥・大場JV

連絡先：〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成28年12月号

第19号

平成28年12月22日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

早いもので、今年も残りわずかとなりました。雪が降る日もあり、寒さが身に沁みる季節ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

本年中は皆さまに当工事へのご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございました。来年も安全・品質・環境を優先した作業を心掛けて参りますので、引き続きよろしくお願い致します。

年の瀬の忙しい時期ですが、お体には十分にお気を付けて、どうぞよいお年をお迎え下さい。



雪景色のダムサイト

工事進捗状況

今年度の予定していた部分のダムコンクリート打設を完了しました。来年1月から3月の期間はコンクリート打設は行いません。現在は、来年4月のコンクリート打設再開までの間、コンクリートの品質を保つための養生を行っています。

養生としては、コンクリート全体を断熱性のある養生マットで覆い、コンクリートが凍結するのを防止します。

また、コンクリート打設を行わないために、コンクリート製造のための仮設備に対しても長期の運転停止に向けて雪囲い等の作業を行っています。

ダムサイト上流にありました展望台、インフォメーションセンター等も一度撤去しました。来春には再度設置します。インフォメーションセンター再開につきましては、改めてホームページ等でお伝えさせていただきます。



コンクリート養生の準備状況
(堤体左岸側)



コンクリート養生の準備状況
(堤体河床部)



仮設備の雪囲い一例

12月の出来事

最上町 新そばまつり

11月20日(日)に『第4回最上町新そばまつり』が開催され、当作業所も後援させて頂きました。会場となった「お湯トピアもがみ」にブースを出展し、プロジェクションマッピングとダムサイトの模型を展示しました。多くの方々にご来場され、美味しい打ちたてのそばを堪能されていました。当作業所のブースにもたくさんの方に立ち寄って頂きました。ありがとうございました。



新入社員奮闘記



雪を防ぎながらのコンクリート
仕上げ作業の様子

私にとっては初めてとなる山形の冬を迎えました。雪に慣れていない私は、車の運転一つ取ってもヒヤッとすることが多く、雪の怖さを身に染みて感じています。

現場では、雪が降るとコンクリートの打設、養生等のために普段以上に事前の段取に気を配る必要があります。土木の仕事は自然を相手にする仕事だと改めて実感させられました。

そんな天候の中、何とか今年最後のコンクリート打設を終え、書類作りに追われる日々を過ごしています。出来上がった構造物をチェックし、様々なデータをまとめ上げるのが主な仕事です。

来年は私も社会人二年目となります。現場、デスクワークどちらも技術を磨き、来年の新入社員にとって良き見本となれるよう、これからも頑張ります。(鈴木)

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛鳥・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム

平成29年1月号

第20号

平成29年1月26日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】



ごあいさつ

あけましておめでとうございます。年末年始は平年より積雪が少なく、穏やかな年明けとなりました。皆さま、お正月はどのようにお過ごしたのでしょうか。当作業所の職員は地元へ帰省し、家族とゆっくりとした時間を過ごすことが出来ました。

今年も安全・品質・環境に配慮した作業を心掛けて参ります。皆さまのお役に立てるよう努力して参りますので、本年もどうぞよろしくお願い致します。

雪も本格的に積もりだし、寒い日が続きますが、お体には十分にお気を付け下さい。



ダムサイト上流側の雪景色

工事進捗状況

ダムサイトまでの県道は、冬期間中は赤倉地区より先は通行止となっているため、一般車の進入は禁止となっていますが、除雪を行いながら工事車両は現場まで進入しています。

冬期間は、ダム本体のコンクリート打設工事は休止していますが、ダムサイト左岸天端におきまして基礎処理工の工事を行っています。積雪、氷点下が続く気温の中、工事用仮設備を雪囲い、凍結防止処置を行いながら昼夜で作業を行っています。

工事事務所では春からの打設再開に向けての計画、準備を行っています。



作業箇所の雪囲い



雪囲い中での作業の様子

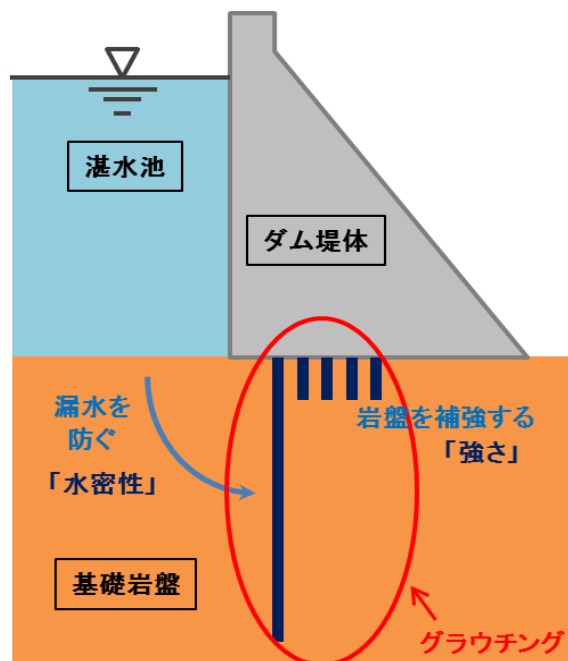


県道の除雪状況

基礎処理工とは

コンクリートダムは、非常に大きい構造物で、強固な岩盤の上に造りますが、より確実に水を堰き止める「水密性」とダムの大きな荷重に耐えることができる「強さ」を確保するため「グラウチング」という施工を行います。これを基礎処理工と呼んでいます。

グラウチングは、ダムの基礎岩盤に規定の深さまでボーリング(孔を開けること)を行い、そこからグラウト材(主にセメントと水の混合物)を基礎岩盤中に注入し、岩盤の亀裂等に充填させます。これにより、基礎岩盤に「強さ」と「水密性」を持たせることができます。

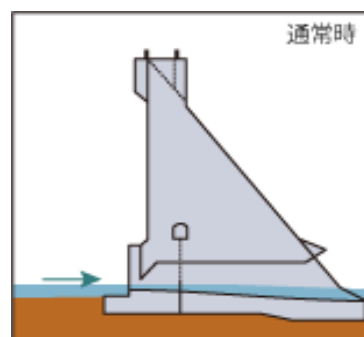


基礎処理工の概要

流水型ダム

最上小国川流水型ダムは、一般的なダムとは異なり、常時ダム湖を形成するものではなく、川底の位置に穴が開いているため通常時は水を貯めず、ダムのない河川と同じように水が流れるダムです。水が常に流れているため水質が維持され環境に与える影響を小さくすることができるのが特徴です。

こういったダムの型式は全国でも数例しかまだありません。代表的なものとしては、島根県の益田川ダム、石川県の辰巳ダム、現在建設中のものと長野県の浅川ダム等が挙げられます。



流水型ダム概要図



石川県の辰巳ダムの事例

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛鳥・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願いいたします。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム

平成29年2月号

第21号

平成29年2月23日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】



ごあいさつ

寒い日が続いておりますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。少ないと感じられた雪も、1月の中旬からはこれまでの分を取り戻すように降り積もり、本格的な雪の季節となりました。除雪作業や雪道の歩行・運転などの際には、十分にお気を付け下さい。

全国的にもインフルエンザが流行しているようです。まだまだ寒さも厳しいですので、体調を崩されませんようお気を付け下さい。



現在のダムサイト

工事進捗状況

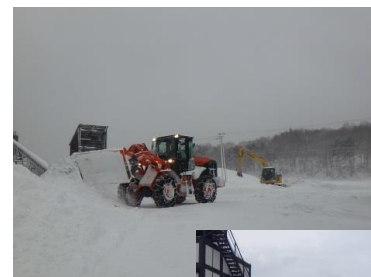
現在、まだダムサイトまでの県道は冬期期間の通行止めとなっておりますが、現場では4月からのコンクリート打設再開に向けた準備を始めています。

場内の除雪を行い、ダムサイトまでの進入路を確保して、順次、ダムサイトでの打設準備、ダム用仮設備の稼働準備作業等を進めていきます。

また、ダムサイト左岸天端では引き続き基礎処理工の工事を行っています。



航空写真による工事区域全景



場内の除雪の様子

2月の出来事

お柴灯まつり

2月4日(土)に第42回赤倉温泉お柴灯まつりが開催されました。ご祈祷には当作業所の副所長も参加させて頂き、今年1年の工事の安全と職員の健康を願いました。赤倉の伝統行事である「鳥追い」も行われ、下帯姿の若者が松明を片手に町内を駆け回り、家内安全・商売繁盛を祈願しました。お柴灯の御神火に清められ、勇壮な鳥追いの姿に身の引き締まる思いがしました。



大堀地区鍋まつり

2月19日(日)に第13回大堀地区鍋まつりが開催され、大堀地区公民館前の特設会場にはあたたかい鍋を求めて、多くの方が来場されました。当作業所も協賛させて頂き、公民館入口にブースを出展しました。プロジェクションマッピングと水理模型の展示を行い、たくさんの方々に立ち寄って頂きました。ありがとうございました。



発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛島・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。



かわら版

最上小国川流水型ダム



平成29年3月号

第22号

平成29年3月23日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

ようやく寒さも和らぎ始め、少しずつ春が近づいてきているように感じられますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。作業所では冬期間に休止していた作業の再開に向けて、準備を進めているところです。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。まだ寒さも残っておりますので、お風邪などお召しになりませんようお気を付け下さい。



現在のダムサイト

工事進捗状況

3月に入り、4月からの堤体コンクリート打設再開に向けた準備をしています。場内の除雪を行い、ダムサイト下流側への進入路を整備しています。また、堤体では、基礎地盤の仕上掘削および岩盤清掃をしています。

仮設備についても冬期休止していた設備の稼働準備を順次行っています。

今後、ダムの基礎地盤をきれいにして検査を受けた後にコンクリート打設という流れで作業を行っていきます。

平成29年度は、ダム本体のコンクリート打設を本格的に施工していきます。その他にも上流工事用(管理用)道路、右岸端部処理工、法面保護工と広範囲に渡って施工を行って参ります。



減勢工進入路整備



堤体岩盤清掃

3月の出来事

富沢地域雪まつり

2月25日(土)、26日(日)に富沢地域雪まつりが開催され、当作業所も協賛させて頂きました。会場となった、JAもがみ富沢米倉庫周辺の特設会場には大きなかまくらや滑り台などが造られ連日たくさんの方が来場されました。25日の前夜祭では雪灯籠やランタンの灯が会場に灯り、打ち上げ花火が打ち上げられました。26日にはスノーモービル乗車体験やゲームなどが催され、元気な子供たちの声が響き渡りました。



岩盤清掃

ダムの基礎地盤は、コンクリートを打設する面の地盤のことをいいます。所定の深さまで岩盤を掘削した後、人力作業にて石や砂などを取り除き、ホースにて水洗いを行いきれいにします。清掃で出た排水はバキューム車にて取り除きます。これを何度も繰り返すきれいな岩盤面とします。

その後、基礎地盤検査を受けてコンクリート打設が行われますが、岩盤清掃は良好な地盤を確認するための重要な作業です。



岩盤清掃状況



使用するバキューム車

発注者: 山形県最上総合支庁
施工者: 前田・飛鳥・大場JV
連絡先: 〒999-6105
山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1
TEL 0233-46-3430
FAX 0233-46-3431
ホームページ
<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行ってまいります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い申し上げます。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。